

受けましたか？乳がん検診

「平成29年度 沖縄県がん登録事業報告」によると、女性のがんのかかりやすさ第1位と死亡割合の高さ第3位が「乳がん」です。

しかし、市の乳がん検診受診率はわずか13.9%。がんは、早期発見・早期治療で治ります。定期的に検診を受けましょう。

保健所 健康増進課 ☎853・7961



乳がんってどんな病気？

乳がんは乳腺に発生する悪性腫瘍です。症状はしこり、痛みなど様々あります。一般的には、40代後半から発症する割合が高い傾向にあり、未婚の人や初潮が早い人は、発症のリスクが高くなると言われています。

早期発見での治療率は90%以上と高く、子宮頸(けい)がんと共に比較的治りやすいがんといわれています。

乳がん検診ってどんな事をするの？

市の乳がん検診はマンモグラフィーまたはエコーを行います。

マンモグラフィー



特徴 がん発見精度が高い
視触診では発見が難しい微小ながんを発見するのに適している

エコー



特徴 X線を用いない検査
妊娠中の人でも受診できる。乳腺が多い20~30代におすすめ

受診者の声

検診のおかげで治療に繋がりました
Tさん(40代)



乳がんは、子どもが生後11か月の時に見つかりました。産後、胸にしこりがあることには気づいていましたが、授乳中によるものかと思い、深刻に捉えていませんでした。

ちょうどその頃、市から乳がん無料クーポン券が届きましたが、授乳中は子どもに影響があるかと思い、すぐには受診しませんでした。有効期限ギリギリで受診した時には既に乳がんはリンパ節へも転移していました。そして、その時はじめて授乳中でもエコー検査が受けられることを知りました。

無料クーポンの期限は平成30年2月末まで！

【子宮がん無料クーポン対象者】
平成8年4月2日〜平成9年4月1日生まれの人(20歳)
【乳がん無料クーポン対象者※マンモ】
昭和51年4月2日〜昭和52年4月1日生まれの人(40歳)
※対象の年齢で、クーポンが手元にない場合は健康増進課までお問い合わせください。

新文化芸術発信拠点施設(新市民会館)

那覇から何を発信していくか

～管理運営ワークショップ

KAAT 神奈川芸術劇場の活動から考える～

市では、新たな文化を創造発信する拠点となる「新文化芸術発信拠点施設」を久茂地小学校跡地へ建設する計画を進めており、今年度は、実施設計と併せて、施設の管理運営実施計画の策定に向けて、計3回の「市民ワークショップ」を開催しました。12月9日(土)の第2回目に、先進的な取組みを行うKAAT(カート) 神奈川芸術劇場の崎山敦彦さんをお招きし、その取組みの中から那覇らしい管理・運営を考えるヒントになるお話を伺いました。



崎山敦彦(さきやまあつひこ)
(公財)神奈川芸術文化財団 事業調整部長 1962年沖縄生まれ。92年「劇場アーツファイア」(現銀河劇場)の開設準備に参加し、96年プロデューサーに就任する他、06年「劇場あつるすぽっと」のチーフプロデューサーとして参加。2011年から「KAAT神奈川芸術劇場」チーフプロデューサーとして事業を総括、現在に至る。

KAATは、ソフト開発に力を入れています。作品を作った全国に展開していくことを使命に、3つの「モノをつくる」「人をつくる」「まちをつくる」ことを達成するために事業展開しています。そのために創造事業、鑑賞事業、人材育成を行い、とくに創造事業に特徴があります。

例えば、タレントを使ったエンターテイメント性の高い演劇を作り、収益をあげることで、子どもたちの作品づくりに充てるなど、補助金を使わずプラスにしていく努力もしています。

劇場には、社会を映し出す側面があり、人に何かを考えさせる力があります。また、多くの集客は望めなくとも、上演する事が公共的役割を持つ、という考え方も理解しなくてはなりません。人間国宝の実演は、同じ空間を共有することで観客はそのたまたまに魅了され、それぞれに与える影響力は大きいと考えます。

他に、公共劇場のネットワーク作りにも力を入れています。多くのソフトを全国の劇場とシェアすることで生まれる専門人材の育成も大事なことです。

KAATの組織は、館長と副館長の下に「企画政策課」「制作課」「舞台技術課」があります。特色は、舞台技術課に、管理運営のグループと、モノをつくるグループ、二つに分かれています。貸館であってもKAATの技術課と作品をつくることで、高いレベルの表現ができる舞台を創造します。技術課のスタッフを充実させることが、未来型の劇場としていちばん大切だと思います。

沖繩が持っている多彩な文化を他県・海外でも発信していくべきだと私は考えます。すぐには難しいと思いますが、今後の劇場づくりを考えるうえで必要だと思います。

劇場づくりは何を発信していくか常に考え続けることが大切です。昨年の6月に文化芸術振興基本法の名称から「振興」が

削除されました。それは日本の文化は成熟したと考えられているからです。

私たちは、おのおの文化について考え、那覇の文化の在り方、考え方を議論すべきだと思っています。市民は何を大切にしていくのか研究するワークショップを重ね、市民・県民が誇れる劇場をつくっていくことがこれからは続く課題なんです。

ワークショップの意見は、施設の利用規則、事業計画に活かしていきます。

新文化芸術発信拠点施設に関する情報は那覇市ホームページのトップページのバナーから見るができます。

文化振興課 ☎917・2395

みなさまの声にお応えして/

取っ手付きごみ袋を販売します

3月1日(木)より店頭販売
10枚入り220円

何が変わったの？

取っ手(持ち手の部分)があるから、結びやすく持ちやすい♪

どれくらい入るの？

約30ℓです。両側面に折込があり、広げるとこれまでの平型タイプと容量は変わりません！

※今回新たに販売する取っ手付きごみ袋はもやすごみ(中)のみです。(大)や(小)は従来の平型タイプをご利用ください。
※(中)の平型タイプ(10枚入り200円)も引き続き販売します。

廃棄物対策課 ☎951-3231



新市民会館設計の参考にした「KAAT神奈川芸術劇場」。ホールは最大約1,200席と大中小3つのスタジアムとアトリ工を完備(神奈川県横浜市中区山下町281)

